令和８年度　定期総会資料

福岡県半導体・デジタル産業振興会議

Fukuoka Prefectural Semiconductor & Digital Industry Development Council

福岡県 Fukuoka Prefecture　北九州市 CITY OF KITAKYUSHU　福岡市 FUKUOKA CITY

定期総会議事

第１号議案　役員選任（案）

第２号議案　令和７年度事業報告

第３号議案　令和８年度事業計画（案）

第１号議案　役員選任（案）

役員選任（案）

福岡県半導体・デジタル産業振興会議規約第８条第２項に基づき、役員の選任を諮るもの。

役員名	氏名	企業･団体名	役職	新･留
会　長	津田　純嗣	(株)安川電機	特別顧問	留任
副会長	内田　誠一	九州大学	理事･副学長	留任
副会長	坂本　比呂志	九州工業大学	理事･副学長	新任
副会長	高西　淳夫	早稲田大学	教授	留任
監　事	内野　敏之	(株)久留米リサーチ･パーク	常務取締役	新任
監　事	間野　彰彦	(公財)飯塚研究開発機構	専務理事	留任

第２号議案　令和７年度事業報告

福岡県半導体・デジタル産業振興会議

【会　長】YASKAWA　安川電機
特別顧問　津田　純嗣

【顧　問】文部科学省科学技術・学術政策局長
九州経済産業局長
福岡県知事、北九州市長、福岡市長

津田会長

服部福岡県知事

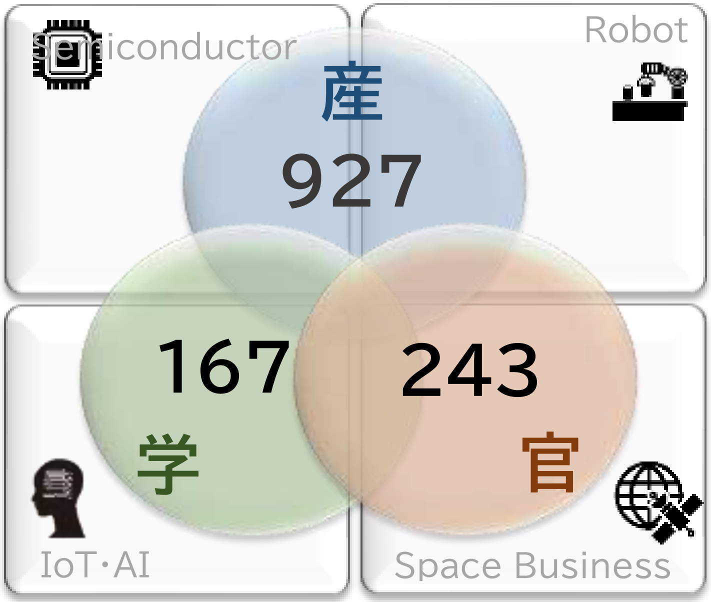
武内北九州市長

髙島福岡市長

【設　立】令和4年6月2日

【会員数】1,337会員（令和8年6月末現在）
振興会議の目的に賛同する企業、
大学、行政、個人

全国トップクラス
1,337の産学官の会員
プラットフォーム



福岡県 Fukuoka Prefecture　北九州市 CITY OF KITAKYUSHU　福岡市 FUKUOKA CITY

取組の方向性

半導体産業(グリーンデバイス)の振興

■ カーボンニュートラル時代の製造業を支える半導体デバイスである
「グリーンデバイス」の一大開発・生産拠点の構築を目指す。

【グリーンデバイス】
省エネルギーに直結するパワー半導体および関連製品、低消費電力化（高速処理・効率処理）を実現する各種半導体および関連製品　など

デジタル産業の振興

■ ロボット、IoT、デジタル化システムや宇宙ビジネスを振興し、
新たなニーズに対応した新産業の創出を目指す。

ロボット

IoT

宇宙ビジネス

半導体産業の振興

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

Ⅱ　人材の育成・確保

Ⅲ　企業誘致の強化

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

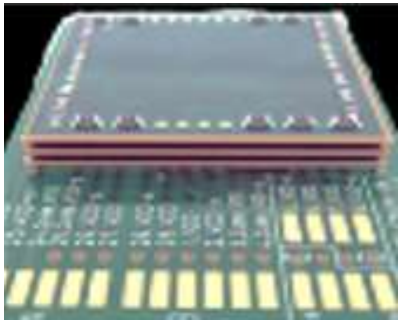
○ 「福岡超集積半導体ソリューションセンター」の開所

「三次元半導体研究センター」等で培ったノウハウを継承し、半導体後工程の先進技術に特化して企業等の研究開発を支援する「福岡超集積半導体ソリューションセンター」を2025年8月25日開所。

▲開所式の様子

▲センター外観

▲設備等



▲試作品の例

福岡超集積半導体ソリューションセンター開所記念フォーラム

■ 日　程 ： 令和7年10月15日（火）

■ 場　所 ： ANAクラウンプラザホテル福岡

■ 内　容 ： ・記念講演「半導体実装技術の展望

～福岡超集積半導体ソリューションセンターが目指す姿～」

福岡超集積半導体ソリューションセンター　センター長　知京 豊裕 氏

・パネルディスカッション

「集積のその先へ～後工程技術が変える半導体の未来と福岡の役割～」

・出席者による交流会　等

■ 参加者 ： 200名

▲ 記念講演

▲ トークセッション

▲ 交流会の様子

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

「福岡超集積半導体ソリューションセンター」開所における新たな取組

01 企業への高度な技術指導の実施

九州大学の５名の先生方を
「技術アドバイザー」に迎え、
協業へ高度な技術指導を実施

02 後工程技術人材の育成

後工程を体系的に学習できる実習講座
を開催し、後工程の技術人材を育成
（開催実績）令和８年１月２６日
　　　　　　　　　　　２月１７日

03 産学官共同開発の推進

産学官連携によりグリーンデバイスの
開発などを推進

従来品（左）４個を
１つ（右）に集積

▲部品内蔵技術による高機能パワーモジュールの開発

04 研究開発機能の強化

企業版ふるさと納税等により新規設備
の導入を推進。新技術への対応を加速

（企業版ふるさと納税等）
　累計実績　１億２８３１万５千円

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

○　インキュベーションルームの提供

ベンチャー企業のスタートアップ、進出企業の受け皿、産学官連携共同研究の場として、インキュベーションルームや研究開発ラボ室等を提供

産業技術イノベーションセンター
（福岡市早良区）
・インキュベーションルーム（全55室）
・シェアードオフィス（全20ブース）

福岡超集積半導体ソリューションセンター
（糸島市）
・インキュベーションルーム（全29室）
・シェアードオフィイス（全7ブース）

○　半導体取引拡大アドバイザーの設置

地元企業の競争力向上を図るため、新規参入・新分野参入を支援するとともに、県内外企業とのマッチングや技術力向上を支援するアドバイザーを設置

▲半導体取引拡大アドバイザー
（三宅 賢治 氏、中村 健二 氏ほか）

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

○　半導体参入セミナー・個別相談会の開催

■　半導体産業への新規参入や新分野参入に興味がある企業を対象にしたセミナーを開催。最新のトピックや県内中小企業の取組を紹介。

■　セミナー参加企業を対象に取引拡大アドバイザーによる個別相談会を開催。

【開催実績】

イベント名	開催日	採択企業
半導体参入支援セミナー	令和7年5月20日	78社・機関
半導体参入個別相談会	令和7年5月20日	11社・機関
半導体参入個別相談会	令和7年10月8日～10月9日	9社・機関

○　半導体後工程関連製品開発支援事業

県内企業の半導体後工程関連製品等に関する新製品開発等に必要な費用を助成

〔補助上限〕 可能性試験：200万円、製品開発支援：750万円　〔補助率〕1/2

R7主な採択テーマ	採択企業
次世代半導体用フラックス洗浄装置の開発	リックス株式会社
ウェハチップのピックアップ工程における剣山プロセス進化開発	KNE株式会社

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

○　国内外の大型展示会への出展支援

【出展実績】

イベント名	開催期間	場　所	出展数
セミコン台湾2025	令和7年9月10日～12日	TaiNEX(台北市)	12社・機関
第2回[九州]半導体産業展	令和7年10月8日～9日	マリンメッセ福岡	26社・機関
セミコンジャパン2025	令和7年12月17日～19日	東京ビッグサイト	8社・機関

▲セミコン台湾での福岡県ブース

▲[九州]半導体産業展での福岡県ブース

○　国際学会の誘致・関連イベントの開催

　半導体の各種国際学会が福岡県で開催。国内外の研究者や企業が来福する機会を捉え、県内企業のブース出展や交流会等を実施。

【出展実績】

イベント名	開催期間	場　所	分　野
ISAPP	令和7年11月5日～7日	福岡国際会議場	先端パワーパッケージ
SWTest Asia	令和7年11月20日～21日	ヒルトン福岡シーホーク	ウエハテスト
AEC/APC Symposium Asia	令和7年11月25日～26日	福岡国際会議場	製造プロセス

▲SWTest Asiaでのイベント、ブース展示

Ⅱ　人材の育成・確保

○「福岡半導体リスキリングセンター」における人材育成

　システム開発技術カレッジで培った「人材育成に関する取組・ノウハウ」を継承し、半導体分野やデジタル産業分野の重要技術に精通した人材を育成

開設日	2023年8月23日
センター長	東京大学　黒田忠広特別教授
講座内容	若手技術者からトップエンジニアまで幅広い人材を育成
［作る側］	半導体の設計、製造、テスト、装置など生産工程別の講座
［使う側］	自動車分野や組込み分野など、半導体を使うために必要な基盤技術を学べる講座

→ **5年間で25,000人の半導体人材を育成！**

R8年6月末時点
受講者数19,328人

ふくおかIST「システム開発技術カレッジ」

公益財団法人　福岡県産業・科学技術振興財団
システム開発技術カレッジ
College of System Development Technology

・産学官による有機的な連携のもと、全国から大学教授や企業技術者を講師として招聘し、半導体技術者向け講座を提供

・2001年の開講から22年間で、約25,000人の技術者を育成

・2019年には、「ものづくり日本大賞」の最高位である経済産業大臣賞を受賞

Ⅱ　人材の育成・確保

○　大学と連携した半導体中核人材の育成

　九州工業大学マイクロ化総合技術センターと連携し、大学の実機を使った実習講座を実施することで、設計から製造、評価までを一貫して見渡せる半導体中核人材を育成

［参加実績］10名（開催日：令和8年3月17日～19日）

○　「福岡テクノロジー人材創生塾」の実施

　県内中高生を対象に、テクノロジー分野に興味・関心をもってもらい、技術者を目指す人材を創出

［参加実績（半導体コース）］ 中学生32名、高校生40名
（開催日：令和7年7月～8月）

▲福岡テクノロジー人材創生塾

Ⅱ　人材の育成・確保

○ 「福岡県テックプログラム」の実施

県内中高生、保護者、教員等を対象に、半導体、自動車、デジタル、ものづくり分野の県内技術系企業の職場見学会やエンジニアとの交流会を実施

[参加実績]823名(開催日:令和7年10月～令和8年3月)

▲職場見学会の様子

○ 半導体後工程実習講座の開催

福岡半導体リスキリングセンターと福岡超集積半導体ソリューションセンターで連携し、半導体後工程を体系的に学習できる講座を開設。

[参加実績]304名(開催日:令和8年1月26日)

▲講座の様子

Ⅲ　企業誘致の強化

○　企業誘致の促進

■　グリーンアジア国際戦略総合特区を活用し、税制優遇や企業立地促進交付金の交付率上乗せを実施

■　企業立地促進交付金に半導体製造関連の特例枠を設け、交付率及び交付限度額の上限を引上げ

○　新たな産業団地の整備

令和4年度～令和8年度の5年間で約100haの新たな産業用地の整備に着手
（整備着手面積の現状値：84．4ha（令和6年度末時点））

▲「株式会社アムコー・テクノロジー・ジャパン」が国内初の研究開発拠点を開設

▲「益芯科SSB株式会社」が設立し、産業技術イノベーションセンターに入居

▲「東京エレクトロン九州株式会社」がソフトウェア開発拠点を開設

宇宙ビジネス産業の振興

Ⅰ　啓発・参入促進

Ⅱ　新製品・サービスの創出

Ⅲ　ビジネス拡大支援

○　アジア・太平洋地域宇宙機関会議（APRSAF）の開催誘致

令和9年に開催される予定の第33回APRSAFの誘致に成功

- アジア・太平洋地域における宇宙利用促進を目的に1993年に設立
- 40を超える国・地域の宇宙機関、行政機関、国際機関、民間企業、大学・研究所が参加
- 本会合および6つの分科会を開催

▲APRSAF-31
マルコス大統領演説

▲福岡開催発表

Ⅱ 新製品・サービスの創出

○ 製品開発支援

宇宙関連製品・サービス開発支援事業

宇宙ビジネスに係る新製品・サービスの開発に向けた可能性試験を支援
〔補助上限〕200万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業
超小型人工衛星運用のためのクラウド一体型自動運用システムの概念検討	Kick Space Technologies㈱
ホステッドペイロードサービスを活用した宇宙産業基盤整備	オガワ機工㈱

▲ 開発した人工衛星
（オガワ機工（株））

宇宙ビジネスに係る新製品・サービスの開発、高性能化を支援
〔補助上限〕700万円 〔補助率〕1/2

採択テーマ	採択企業
赤外領域の低反射性を向上させるめっき処理技術の開発	㈱九州電化
生成AIによる衛星画像の超解像化を活用した農地調査支援サービスの開発	㈱デジオン
月面探査・映像データ通信を高速化する宇宙用通信機基礎 モデル（ブレッドボードモデルBBM）の開発	ギガファーム㈱
超低軌道衛星の実現に向けたマイクロ波電熱スラスタの開発	Ouranox Technologies㈱

▲ 農地調査支援サービス
（（株）デジオン）

Ⅱ　新製品・サービスの創出

○　宇宙日本食開発・支援事業

■　宇宙日本食開発に係る費用や、宇宙日本食認証に必要な検査試験費用を助成
〔補助上限〕200万円　〔補助率〕1/2

■　専門家を県内食品関連企業に派遣し、煩雑な宇宙日本食認証に係る助言を実施

採択テーマ	採択企業
はかた地どりの宇宙食認定へのプロジェクト（お粥）	農事組合法人福栄組合
産官学連携で九州初となる宇宙日本食認証の創造及び昆布乳酸発酵エキスの使用で塩分を抑えた宇宙飛行士の健康に配慮した商品開発（スープ）	学校法人中村学園
筋肉萎縮抑制美味しい宇宙ゼリー開発	株式会社福岡フーズ
ピエトロ宇宙万能ドレッシング	株式会社ピエトロ
地球から宇宙へ、”整える”ティータイム革命（ハーブティー）	株式会社BISA
一本メンマで宇宙へ。竹の命を携えて〝Handy“に旅立つ地球発の和スナック	一般社団法人こがみらい

▲筋肉萎縮抑制美味しい宇宙ゼリー
（（株）福岡フーズ）

▲ピエトロ宇宙万能ドレッシング
（（株）ピエトロ）

▲宇宙日本食開発・認証アドバイザー
（柿野 賢一 氏、浅野 高光 氏）

Ⅱ　新製品・サービスの創出

○　宇宙ビジネスプロモーターの設置

　宇宙ビジネスに精通した「福岡県宇宙ビジネスプロモーター」を設置し、伴走支援を行い、県内企業の新規参入やビジネス拡大を促進。

［宇宙ビジネスプロモーター］

　宇宙ビジネスの専門家8名に委嘱（衛星開発、衛星データ活用、新事業支援の専門家等）

JAXA 上村次長

九州工業大学 前田特任准教授

（株）Tellus 山﨑CEO

SPACETIDE 佐藤CSO

［支援内容］	・支援先企業の保有技術と業界動向を踏まえた参入提案 ・求められる製品・サービス等を踏まえた製品開発の助言 ・取引候補企業の紹介・開拓
［支援件数］	・182件（81社）
［具体的な成果］	・ロケット製造・打上げ企業を紹介し、衛星の早期打上げを実施 ・県内モノづくり企業と共同で、衛星構造部品の開発を開始 ・県内スタートアップ企業が宇宙戦略基金に採択

Ⅲ　ビジネス拡大支援

○　大型展示会への出展

首都圏等での宇宙関連の展示会への会員企業の出展を支援

イベント名	開催期間	場　所
Space Suppliers Summit 名古屋	令和7年9月24日～26日	ポートメッセなごや
NIHONBASHI SPACE WEEK	令和7年10月28日～30日	日本橋三井ホール

▲Space Suppliers Summit 名古屋の様子

○　ビジネスマッチングイベントの開催

ビジネスマッチングイベントの開催により、
本県の宇宙ビジネスのポテンシャルや県内宇宙関連企業の優れた技術等をPR

イベント名	開催期間	登壇	場　所
福岡県宇宙ビジネスピッチ	令和7年9月25日	4社	ポートメッセなごや
FUKUOKA SPACE TECH NIGHT 2025	令和7年10月30日	6社	X-NIHONBASHI TOWER

▲ FUKUOKA SPACE TECH NIGHT 2025の様子

Ⅲ　ビジネス拡大支援

○　宇宙ビジネスのさらなる拠点化に向けた調査・検討

　県内企業の宇宙ビジネス参入、取引拡大を目的に、大手宇宙関連機器メーカの発注ニーズ調査や県内企業等への宇宙ビジネスに関するヒアリング等を実施。

・大手宇宙関連機器メーカー15社、宇宙ビジネス参入済企業15社、県内ポテンシャル企業10社にヒアリングを実施。
・県内企業のモデルケースとなるような宇宙ビジネス参入済企業へのヒアリング結果から発注者と受注者を繋げる媒介者の存在が受注に至ったきっかけになることが多いと分かった。

○　ネットワーク構築イベントの開催

　従来の宇宙ビジネスフォーラムに代わり、宇宙の各分野をテーマにした「Fukuoka Space Business Meetup」を3回開催

テーマ：「人工衛星」「世界の宇宙開発動向」「衛星データ利活用」

・　宇宙ビジネスを熟知した実務家によるトークセッション
・　JAXA職員や宇宙関連企業によるセミナーや個別相談会、交流会

　　［ 会　場 ］ワン・フクオカ・ビルディング（CIC Fukuokaが入居）
　　［ 参加者 ］ 各回約60名程度（県内企業、アカデミア、VC等）

▲第1回　開催の様子

第３号議案　令和８年度事業計画（案）

半導体産業の振興

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

Ⅱ　人材の育成・確保

Ⅲ　企業誘致の強化

次頁以降に、新たな取組・拡充した取組を中心に抜粋して記載

Ⅰ　地元企業のサプライチェーンの強化

新たな取組

【新生シリコンアイランド九州プロジェクト】

▲セミコン台湾での福岡県ブース

○　海外大型展示会での九州パビリオンの出展

　SEMICON Taiwanに九州パビリオンを出展し、九州の企業に対して海外企業との幅広いビジネスマッチングの機会を提供するとともに、九州各県の企業誘致活動等を実施。

▲商談会イメージ

○　九州合同商談会の開催

　台湾の業界団体等と連携の上、台湾の企業と九州の企業の合同商談会を開催し、九州の企業に対して個別の商談機会を提供。

イベント名	開催期間	連携予定自治体
SEMICON Taiwan	令和8年9月2日～4日	福岡県、山口県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県
九州合同商談会	令和8年11月～2月（予定）	福岡県、山口県、佐賀県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

新たな取組

○「半導体全製造工程見学会・交流会」の実施

　高専、大学、大学院生に対し、半導体製造プロセスの全工程を企業横断的に学習する機会を提供し、半導体関連産業への就職を志す人材を創出。

【新生シリコンアイランド九州プロジェクト】

○「テクノロジー人材創生塾2026」の実施

　県内中高生を対象に、テクノロジー分野に興味・関心をもってもらい、技術者を目指す人材を創出。

区分	内容
テーマ	グリーンデバイス（半導体）　※熊本県と合同開催
実施内容	座学、工場見学、ワークショップ等を織り交ぜたプログラム
実施場所	キッザニア福岡　※工場見学、現場体験は協力企業、協力機関で実施
実施時期	令和8年7月～8月（予定）

▲テクノロジー人材創生塾

デジタル産業の振興

新たな取組

○ AIデバイス開発支援事業

県内企業のAIデバイス※に関する新製品開発等に必要な費用を助成
〔補助上限〕 可能性試験：300万円、製品開発支援：1,125万円
〔補 助 率〕 1/2～3/4

※自律的に認識・判断・行動するAIを組み込んだ電子機器
（例）AIカメラ、AI自動収穫ロボットなど

○ 国内の大型展示会への出展支援

【出展予定】

イベント名	開催期間	場　所	出展予定数
CEATEC2026	令和8年10月13日～16日	幕張メッセ	10社・機関

宇宙ビジネス産業の振興

Ⅰ　啓発・参入促進

Ⅱ　新製品・サービスの創出

Ⅲ　ビジネス拡大支援

次頁以降に、新たな取組・拡充した取組を中心に抜粋して記載

Ⅰ　啓発・参入促進

新たな取組

〇　APRSAF開催に向けた機運醸成

■　令和9年APRSAF福岡開催に向け、福岡県での開催認知度向上および、県内企業のAPRSAFへの参加促進のため、プレイベントを今秋に開催予定。

■　APRSAF福岡開催のPRおよび県内企業の海外展開支援のため、国内外宇宙関連イベントへ福岡県ブースを出展する。

【出展予定】

イベント名	開催期間	出展社数	場　所
SPACETIDE2026	令和8年7月6日～7月9日	3社	東京・虎ノ門エリア
APRSAF-32	令和8年10月27日～10月30日	2社	タイ・バンコク

▲SPACETIDE

▲APRSAF

Ⅱ　新製品・サービスの創出

拡充した取組

○　製品・サービス開発支援

　従来の宇宙関連機器や衛星データ利活用サービスに留まらず、幅広い分野における県内企業の新製品・サービスの開発を支援

（1）宇宙ビジネスに係る新製品・サービスの開発に向けた可能性試験を支援
〔補助上限〕300万円　〔補助率〕1/2～3/4〔予定件数〕3件

（2）宇宙ビジネスに係る新製品・サービスの開発、高性能化を支援
〔補助上限〕1,050万円　〔補助率〕1/2～3/4〔予定件数〕3件

（3）宇宙福岡食認証・開発にかかる費用を支援
〔補助上限〕450万円　〔補助率〕1/2～3/4〔予定件数〕3件

▲はかた地どりともち麦のお粥（福栄組合）

▲南瓜と人参のポタージュ（中村学園）

Ⅲ　ビジネス拡大支援

○　宇宙ビジネスのさらなる拠点化に向けた調査・検討

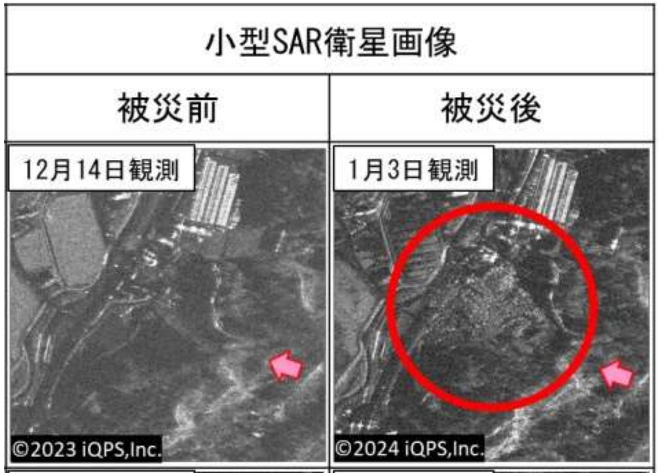
　衛星データ利活用サービスへのポテンシャルを持つ県内企業および衛星データ利活用サービス既参入企業への宇宙ビジネスに関するヒアリングを通じて今後の県内企業の宇宙ビジネスへの参入、取引拡大に繋げる

【調査対象】
① 衛星データ利活用ビジネスポテンシャルがある県内企業
② 衛星データ利活用ビジネス既参入企業

新たな取組

○　SAR衛星データを活用した実証事業

　天候・昼夜不問で観測可能であるSAR衛星データの利用拡大を見据え、県が保有する防災やインフラ管理などにおける課題を解決するシステムを作り、その有効性の実証を支援する



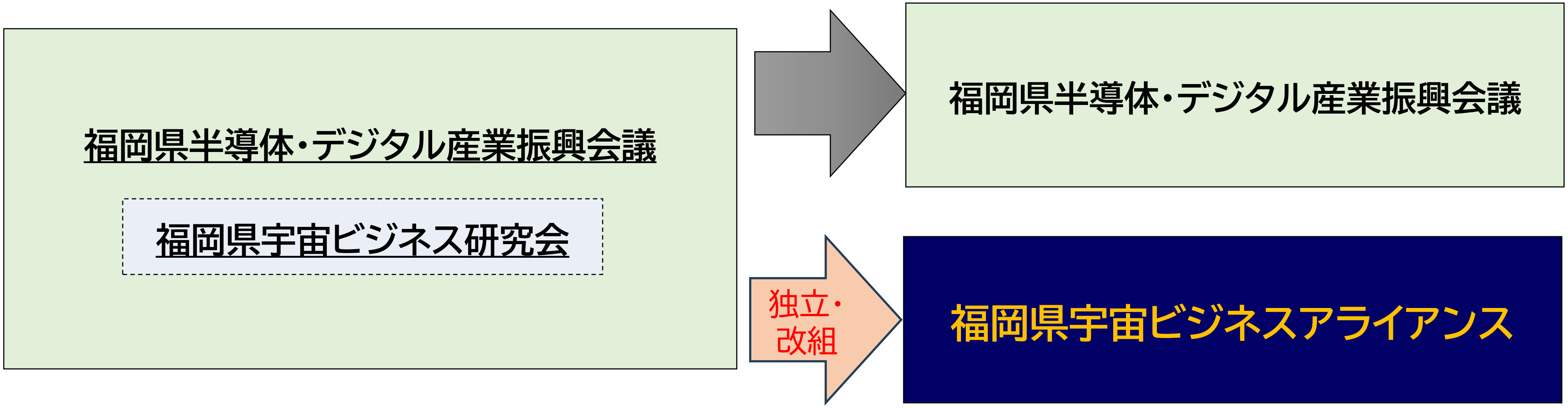
▲ SAR衛星による観測事例】
能登半島地震における土砂災害箇所把握
（国交省・国土技術政策総合研究所報告より）

福岡県宇宙ビジネスアライアンスの設立

福岡県宇宙ビジネスアライアンスの設立について

- ■ 福岡県宇宙ビジネス研究会は令和2年に福岡県半導体・デジタル産業振興会議の内組織として設立
  - ・宇宙ビジネス研究会の会員数480（令和8年4月現在）
- ■ 「宇宙ビジネス創出拠点」構築に向けた取組をさらに加速するため、宇宙の専門家による産業界のニーズや大学の優れた知見を踏まえた戦略的な施策展開を進める。

【R8.7月現在】



産・学・官の連携で
福岡県を半導体・デジタル産業の拠点へ